

福祉に役立ててください



▲東町長へ手渡されました

5月13日（金）、日本和装学園大隅本校総合学園長の溝口千恵子さん（すみれ総合サロン）が町長室を訪れ、町社会福祉協議会（会長：東靖弘町長）へ寄付を行いました。

これは、4月17日にあすばる大崎で開催された『第44回全日本きもの着付選手権大会鹿児島フェスティバル』の入場料の一部を寄付したもので、溝口さんは、「福祉の向上に役立ててください。」と東町長へ伝えました。

大隅本校から10名が全国大会へ出場されます。

ボタンウキクサにご注意を！

5月21日（土）、大崎町建設業同志会が持留・岡別府地域保全協議会と連携して『水土里サークル活動』^{みどり}を行い、持留川が流れる岡別府橋周辺に生息するボタンウキクサ（ウォーターレタス）の駆除と農道の伐採作業を行いました。

当日は15社から18名が参加し、上流から下流までを3か所に分かれて作業しました。

※ボタンウキクサ（ウォーターレタス）
河川や池・用水路に繁殖し、生態系への悪影響などが問題となっている『特定外来物』に指定されています。



▼拡大写真



▲網を使っでの地道な作業が必要

大崎町を元気に！青年団発進！



▲『繋がる仲間、繋がる輪』のスローガンのもとスタート

5月21日（土）、町中央公民館において、『平成28年度大崎町青年団定期総会』が開催されました。

総会は町教育委員会をはじめ、鹿児島県青年団協議会・曾於地区青年団協議会を来賓に迎え進められました。

団長に就任した馬込洋志さん（高尾）は、「今年度はボランティア清掃などの地域活動や、子どもたちを対象にした節分イベントを開催したい。青年団が活発な団体になることで、大崎町がより元気になるよう頑張っていきたい。」と抱負を話しました。